

-ご使用になる前にご一読ください。-

1. 製品の取扱いに関する注意事項

- ・防錆処理の有効期限は、6ヶ月が目安となっておりますので、有効期限を超えて、保管される場合は、未開封の状態であっても、定期的な防錆処理をお願い致します。また、保管状態によっては、防錆効果が著しく低下する場合がありますので、高温多湿な環境や急激な温度変化が生じる様な環境下での保管は、お控えください。
- ・製品に使用している材料は、非常に硬い反面、脆さも特性として併せ持っております。製品同士の接触や自重、衝撃や過度な締付け等により、破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・超硬製品は、比重が大きい為、見た目の大ささ以上に重量がありますので、取扱いには、十分ご注意ください。
- ・ご使用後にそのままの状態で保管されると、腐食の原因となりますので、ご使用後は、洗浄、防錆処理を行うなど、保管状態には、十分ご注意願います。

2. 製品を加工する際の注意事項

- ・製品を研削加工(研磨)すると、粉塵やミストが発生します。これを多量に吸入したり、飲み込んだり、目や皮膚に接触したりすると、人体に有害な影響を及ぼす場合がありますので、加工の際には、これら有害となる可能性のある物質が飛散し、人体に触れない様、集塵装置の設置と併せ、保護マスクや保護眼鏡など、保護具着用の徹底をお願い致します。また、手などに付着した場合は、直ちに洗剤を使って、水で良く洗い流してください。作業を行う場所での飲食は控え、飲食の前には必ず手を洗ってください。その他、衣服に付着した場合には、その場で払わずに、掃除機などで吸い取るか洗濯する事をお薦め致します。
- ・材料に含まれるコバルトやニッケルは、反復や長期間の接触により、皮膚や呼吸器官、心臓などに影響を与える可能性が報告されています。また、乾式研削加工等で生じる粉じんが肺に吸入されると、じん肺等の障害が生じる可能性があるとされています。
- ・製品再研削(刃付け)時の加工条件によっては、刃面にき裂が入る事がありますので、研削後には、探傷検査を行い、異常が無い事を確認する事をお薦め致します。
- ・製品にレーザーや電気ペン等で、マーキングを行うと、き裂が入る事がありますので、ご注意ください。また、応力が加わる部分へのマーキングは、お控えください。

3. 製品使用上の注意事項

- 刃部に直接手を触ると怪我をする恐れがありますので、特に製品の取出し時や治具や設備への脱着の際には、保護手袋等の保護具を使用してください。
- 使用方法を誤ったり、過酷な条件で使用されると、製品が破損や飛散により、重大な事故に繋がる恐れがありますので、適切な条件下でのご使用をお願いします。
- 衝撃的な負荷や加工超過などによる過度な摩耗の進行による、切削抵抗の急激な増大により、工具が破損する恐れがあり、大変危険ですので、刃具の交換時期については、安全面を考慮した早目の交換をお勧め致します。
- 加工直後は、工具や被削物が高温状態となりますので、切り屑も含め、直接手を触れない様、火傷には十分ご注意ください。
- 加工中の火花や破損等による発熱、高温の切り屑により、引火や火災の危険性もありますので、特に不水溶性の切削油を使用される場合には、防火対策を必ず行ってください。
- 工具の保持や振れ出しが不十分な状態で使用されると、加工時の振動により破損する恐れがありますので、加工前に試運転を実施し、振れや振動、異音などが無い事を確認する事をお薦め致します。
- 加工物に生じたバリに直接手を触ると怪我をする危険がありますので、素手で触らない様、ご注意ください。
- 所定の用途以外の目的で使用する事は、機械や工具の破損や重大な事故を招く恐れがあり、非常に危険ですので、本来の目的以外でのご使用は、お控えください。

4. 応急措置

- 作業中、気分が悪くなった時は、医師に連絡し、診察や手当てを受けてください。
- 高濃度の粉じん等を吸引するか、その恐れがある場合は、空気の新鮮な場所に移し、衣服やベルト等を緩め、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。また、作業中に咳や息切れ等の呼吸系の症状が現れたら、直ちに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に粉じん等が付着し、異常を感じた場合は、多量の水で洗浄する。必要に応じて石鹼などを用いて十分に洗い落としてください。また、皮膚に刺激(痛み)や発疹がでた場合は、医師の診察や手当てを受けてください。
- 粉じん等が目に入った場合は、直ちに清浄な流水で数分間洗浄した後、(できればコンタクトレンズは外し)医師の診察を受けてください。
- 洗浄の際には、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにし、擦って眼球を傷つけないように十分に注意してください。
- 多量に粉じんを飲み込んだ場合は、大量の水を摂取して希釈後、医師の診断や手当てを受けてください。